

研究
助成金

受領者16人決定

矢崎財団

技術振興財団（細川興一理事長）は先頃、2020年度の研究助成的に「新材料」「エネルギー」「情報」の3分野を対象に研究助成した。研究助成は独創的に行っている矢崎科学的で、その成果が科学的

技術振興財団（細川興一理事長）は先頃、2020年度の研究助成的に「新材料」「エネルギー」「情報」の3分野を対象に研究助成した。研究助成は独創的に行っている矢崎科学的で、その成果が科学的

技術の進歩に大きく貢献すると考えられる研究が対象となる。学術賞は、過去に同財団から助成を受けた研究者のなかから優れた業績をあげた研究者に与えられる。

▽一般研究助成200万円（応募79件）
 高性能蓄熱酸化チタン

の開発（所裕子筑波大
 学教授）ほか5件▽奨励研究助成100万円（同48件）
 半導体原子層物質のプラズマを用いた低温・高速合成（鈴木弘朗岡山大学教授）ほか10件▽特定研究助成1000万円（同9件）
 有機電極材料を利用した高エネルギーに関する研究。

技術の進歩に大きく貢献すると考えられる研究が対象となる。学術賞は、過去に同財団から助成を受けた研究者のなかから優れた業績をあげた研究者に与えられる。

▽一般研究助成200万円（応募79件）
 高性能蓄熱酸化チタン

の開発（所裕子筑波大
 学教授）ほか5件▽奨励研究助成100万円（同48件）
 半導体原子層物質のプラズマを用いた低温・高速合成（鈴木弘朗岡山大学教授）ほか10件▽特定研究助成1000万円（同9件）
 有機電極材料を利用した高エネルギーに関する研究。

技術の進歩に大きく貢献すると考えられる研究が対象となる。学術賞は、過去に同財団から助成を受けた研究者のなかから優れた業績をあげた研究者に与えられる。

▽一般研究助成200万円（応募79件）
 高性能蓄熱酸化チタン

の開発（所裕子筑波大
 学教授）ほか5件▽奨励研究助成100万円（同48件）
 半導体原子層物質のプラズマを用いた低温・高速合成（鈴木弘朗岡山大学教授）ほか10件▽特定研究助成1000万円（同9件）
 有機電極材料を利用した高エネルギーに関する研究。